

保育園からこんにちは

ペンギン (東山動物園)

いまいなつきちゃん (6歳・大沢)

五加保育園



No. 334 63/11



# 広報 ひがししらかわ

発行 東白川村 ■編集 東白川村企画課 ■〒609-13 岐阜県加茂郡東白川村神土548番地  
☎05747>8-3111・内線26 ■印刷 益田郡下呂町 下呂印刷株式会社

## テレビ局大接近!

近ごろ、ひんぱんにテレビ局が訪れています。

テレビの力を借りて、小さな村をデッカクPRしようと、村の人たちに慣れないエキストラをお願いしたり、小学校の児童に出演してもらったり。このもようは、10月28日に岐阜放送で放映されたものです。

12月18日には、中京テレビ「ふるさとわがまちベストテン」で村が東海地区に紹介されます。



▲東白川小学校の給食時間を取材：この日はマツタケご飯でした。

▼四つ割の碑の前で寺の無い村を紹介。



### 人口の動き

—10月末住民登録人口から—	
世帯数	919世帯
人口	3,572人
転入	4人
転出	4人
出生	7人
死亡	1人

先月と比較して6人増  
昨年の同月と比較して5人減



「ここはどこですか」「東白川村です」とクイズに答える 澤木さしおさん(平)

# この道は村の命の道

## 主要地方道白川加子母線の改良を...

主要地方道白川加子母線...かつては白川街道と呼ばれたところから今日まで、この道の改良整備は、いつも私たちの最大の関心事でした。

十月三十一日、今までよりもさらに強力に改良を進めるため、促進大会が開催されました。

この日、会場の五加センターに集ったのは、村長、議会議長を始め行政、議会の関係者、村内の各種団体代表者、地元五加区の皆さんなど総勢八十二人。お迎えした来賓は、衆議院議員渡辺栄一氏、青山・新藤両県議会議員、県当局から向島可茂土木事務所長ほかの皆さんでした。

いま私たちの村が直面していることは五加バイパスの着工です。白川加子母線未改良区間のうち、五加大沢から柏本までの約二、三割は、途中「よこびき」の難所があり、現道沿いには人家も多く、この



3つのスローガンをかけて、村長の要望発表とあいさつ



「引続き努力する」と渡辺代議士

の第一期工事を昭和六十五年頃には完成させたいということです。一期工事が完成すれば、とりあえず宮代から大沢まではバイパスが使えるようになります。

また渡辺代議士から、白川加子母線の改良に寄せる地元の期待の大きさを改めて痛感した。ようやく国の財政も好転しつつあるので、今まで以上の努力をする、という力強いあいさつがあり、村長から陳情書が手渡されました。

早期完成を強く訴えました。五加バイパスは、現在改良済みとなっている大沢の今井製材所上から橋を架けて対岸へ渡り、再び橋で宮代へ渡ります。宮代の水田地帯を横切って製茶工場前から三つ目の橋で下野へ渡り、斜め一直線に名商大の裏を廻って、四つ目の橋で安江建材土場附近へ渡って現道に接続します。

(次頁の写真参照)

### いよいよ今年第一橋着工

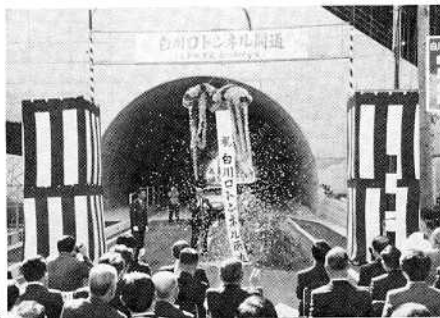
このバイパス沿いの宮代、下野地区は来年度土地改良事業が行われる予定で、道路改良事業との調整が課題となっており、地元の皆さんの心配もここにありました。

この日、可茂土木事務所長の説明によると、大沢の第一橋の下部工事を、今年度着工し、来年度この上部工事と第二橋下部工事を、並行して橋と橋を結ぶ道路を開設して、宮代まで

引続き二期工事にかるわけですが、バイパスの計画延長が二千三百六十二メートル、全体の道幅十一メートル、四つの橋の合計延長三百四十四・五メートルという工事は、バイパスとしては規模が大きく、事業費も十七億円程度が見込まれます。

地元の関心は、一日も早い完成で、五加区長の寺坂五郎さんは、区民を代表して、早期完成と、道路改良事業に先行して行われる土地改良事業との調整に留意し、不用な混乱の起きぬよう要望されました。

来賓の青山、新藤両議長は、道路改良事業は常に声を大きくして要望を練返すことが大切で、その点今日の促進大会は意義が大きい、皆さんの要望を背中に負って、県や国に対して今まで以上に努力すると約束されました。



この日行われた白川ロトンネル開通式



声を大にして訴えよう  
新藤県議



皆さんの声は天の声  
青山県議

村内の未改良

あと六・四キロメートル

白川加子母線は、白川町の国道四十一号線から、加子母村で国道二百五十七号線に接続する総延長二五・六キロの主要地方道(県道)で、全体の改良率は七二・六割となっています。特にこの日、私たちの村の促進大会終了後、白川町で行われた「白川口トンネル」の開通式によって、白川町内は工事中の橋を含めて今年度完了します。

一方、加子母地内も現在工事が行われており、残すところは東白川村地内の六・四キロ余りとなりました。

東白川地内の延長は十三・六キロですから、まだ改良の済んでいないところは四十七・四キロとなっています。

このうち先に述べた五加バイパスが二・三キロ余ですが、ほかに神土地区〇・九キロ、越原地区に三・三キロが残っています。この促進大会で第二に要望さ

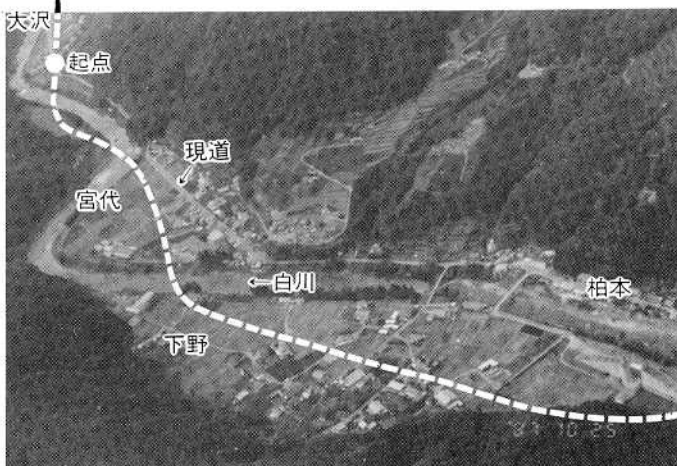
れたのはこの点です。越原区長の村雲孝平さんは、越原地内はほとん



越原区長 村雲孝平さん



五加バイパスの早期完成を五加区長 寺坂五郎さん



五加バイパスのルート図

県道は難所が多く改良困難と判断 橋四つをかけて結ぶ大規模バイパス

終点

ど全線未改良であり、誘致以来発展を続けている岐阜部品本社工場への大型自動車の出入りや、長野方面からの木材運搬の大型車の急増などを訴えられ、小中学生を始めとする歩行者の交通安全のためにも、越原地区の改良促進を強く要望する発言がありました。また商工会長の木村成人さんも、林業と木材関連産業を主体とする東白川村にとって、道路は命である、と活気に満ちた産業を育てる立場から改良促進の要望をされました。これに対して、可茂土木事務所長から、越原地区については、昨年十月十六日、東白川

村で開かれた「あおぞら広聴」で出された同じ内容の要望に対して、上松知事が、「私も今日あの道を通って来たので実情が良く分った、非常に重要な道路であるので、早急に対策を考える」と発言されているので、昭和六十四年度に調査のための予算を要求し、計画の樹立を行うよう努力すると回答がありました。

越原地区でも計画に着手

調査ということは、どの部分をどのように改良し、どこを通れば良いか、といったことを決定するため、必要な測量や地質などを調べ、計画をまとめる作業のことで、これがまとまると地元への計画説明、協議が行われ、最終的に計画が確定し、次の段階で工事に着手されます。神土地区については、先日東白川病院を視察された青山県議から、「病院の先生が聴診器を患者さんの胸にあてていても、表を大型車が通るたびに、エンジン音と混同して診察しづらい」という話が紹介され、せめて病院前でも何とかしな

ければならないと強調されたのを受けて土木事務所長から、国の補助金を受けてやる事業は、五加バイパスと越原地区の二か所となるので、病院前は県の単独事業で何とか努力したいと発言がありました。今回の促進大会は、大会としては地味で時間も短かったにもかかわらず、すでに計画の出来ている五加バイパスはもとより、越原、神土地区についても具体的な今後の進め方を、直接聞くことができたことが大きな収穫で、村民共通の夢である白川街道の改良が、力強く前へ進んだ印象を強くしました。村と議会では今後とも引続き要望を繰り返して、早期改良のために力を注ぐことにしています。



期待をこめて拍手する地元の皆さん

# 文化の祭典

十一月は文化の月、村民センターでは一日から三日間「文化展」が開かれました。家族連れなどで訪れた人たちは、趣味の作品、小中学校の美術作品、そしてなつかしの民具など八百点余りの作品に見入っていました。

狂俳

文化展

花 け 生

なつかしの民具展



## 気を許していませんか

成人病検診を振り返って



は成人病予防検診を行っています。今年で十七年目を迎えた成人病予防検診では、対象者千六百二十二人の内、受診された方は五十九割に当たる九百五十七人と、前年に比較して百三十一人も減少しています。



8月に行われた成人病検診

また検診の結果、精密検診が必要と判定された方が、昨年を十七人上回る三十四人と二倍に増えています。この要因には、血圧上昇傾向の人が昨年十人から今年二十人と増えたことが挙げられます。

昨年成人病予防検診で、血圧が上昇ぎみであることを指摘されたAさんは、肥満を治そうと減量に成功されました。Aさんは、まず食事の量に目をつけ、間食は一切やめる、夕食の後は何も口に入れない、毎食一膳にするなど、地道に努力された結果、体重は三割減少し、血圧も下って身体の調子がよくなったと喜んで見えました。肥満は成人病になる原因の一つなのです。

### ジワジワと蝕む成人病

成人病の大部分は、自覚のないまま長い時間をかけて進行し、症状があらわれたときは、かなり進んだ状態にあることが多いのです。

いったん発病すると治療は困難で長期にわたるうえ、完全に治らない病気が多くあります。

しかし、早く発見して上手につきあえば、症状の出現を抑え、普通に働き生活できる場合も多いのです。

成人病は、年齢に比例してかかるというものではありません。若いときからの悪い生活習慣の積み重ねが発病のもとを作る

高血圧、糖尿病、脳卒中、心臓病、成人病として挙げられます。こうした成人病を早期発見し、健康を確認する場として、村で

肥満は成人病のもと  
肥満が血圧上昇に、大きく関係していることをご存知ですか。余分な脂肪は、血管の壁について血液の流れを悪くします。このため、強い力で血液を送ることになり血圧が高くなるわけです。

## 文化祭



2年生父母と生徒による合唱



2年B組「もう一人のどろろ」

### 親子合唱に花が咲く

十月三十日、東白川中学校の文化祭が、同校体育館で行われました。今年の見どころは、三年生が演じた「べっかん鬼」、本郷村善九郎」など本格的な演劇の上演でした。この九月末

のです。昨年は異常がなかったからと気を許さないよう、自分の生活を振り返って、健康を確認してほしいものです。

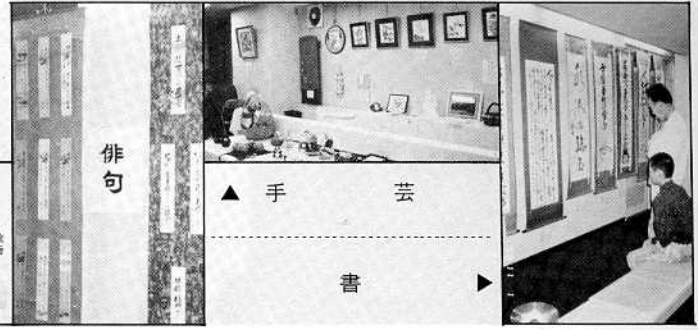


▲小学生習字

中学生絵画▶

俳句・長歌▶

一般絵画▼



俳句

▲手芸

書▶

# 秋の味覚でおもてなし

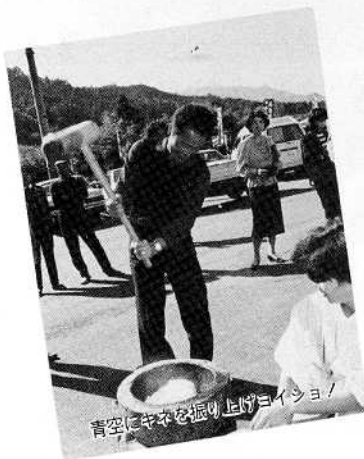
第3回ふるさと会体験イベント



厚く切られたマツタケにビックリ!

ウンとぜいたくに「松茸ご飯食べ放題」東白川村ふるさと会では、十月二十三日に開かれた「秋の清流マス釣り大会」に便乗して「ふるさと市と秋の味覚ツアー」を行いました。このツアーは、ふるさと会員二百二十人を対象に、村の良さを少しでも知ってもらおうと計画し参加者を募ったもので、四世帯十三人の会員

が訪れました。今回のメインは「マツタケご飯食べ放題」という企画で、マツタケのどびん蒸しを始め、茶碗蒸しにムラサキゴケ、鮎の卵ら珍味を添え、お酒一本付きの定食を一人前二千円で奉仕。また、会場となった越原地域集会場前で、ふるさと朝市が開かれ、新鮮な野菜や村おこし商品を手提げ袋いっぱい買い求める会員の姿も見られ、餅つき、マス釣りイベントを楽しんでもらうなかで「または是非来させてもらいます」と、次回のイベントに期待が寄せられていました。



青空にキラキラと振り上げよう!

昭和六十三年秋の叙勲受章者に、東白川村母子健康センター嘱託助産婦の安江とくよさん(68)が選ばれ、へき地開業助産婦としてこの道四十年にわたる功労が認められ、このほど勲六等宝冠章を受章されました。安江さんは、昭和十一年に京都市内の小児科医院に勤めながら、看護婦、産婆、保健婦の三つの国家資格を取得され、昭和十九年二月、結婚を機に東白川村へ帰られました。ところが、



## 安江とくよさん勲六等宝冠章受章

夫が満州分村開拓団の一員として渡満することになり、この年



「ただ皆様には感謝するばかりです」と今日も白衣のとくよさん

開拓団保健婦として同行し、昭和二十一年十月郷里に引き揚げられるまでの間、現地では東白川村と恵那地区を担当し、筆舌に尽しがたいほど厳しい環境の中で、開拓団員の保健活動に従事されました。昭和二十二年に自宅で助産婦開業、四十三年には母子健康センターが開設されて嘱託助産婦となり、この間にとりあげた赤ちゃんは、実に二千三十三人となっています。

# 中学校



3年A組「べっかんこ鬼」



1年「毛虫昇天」

より十回の練習を重ね発表された、二年生の父母四十人と生徒五十三人による「親子合唱」など参観の人々の心をとらえるものばかりでした。





正しい枝打ちと、そのコツ  
県事務所林務課 大澤指導員

# 森林は今、あなたの



久須見村有林

が急増し、無計画な乱伐に伴って天然林は、年々その姿を消し去っていきました。そして昭和二十四年、戦

後の経済復興政策に基づき、村は「造林五か年計画」を定めて、積極的に造林事業を進めたので

その結果、民有林(村有林+私有林)における造林面積は、昭和二十六年当時わずか千九百

林率も六十八・一割と伸び続けています。これを樹種別に見ると圧倒的にヒノキが多く、八十五割を占めていました。こうして植林された人工林は天然林と違って

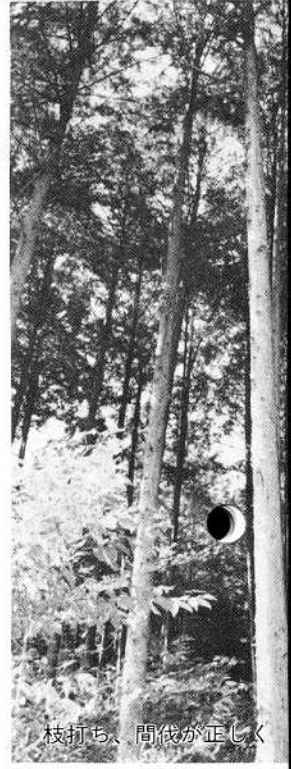
人の手による施業が行われてこそ、高級建築材として節の無いまっすぐな柱材が生産されるのです。

何とかして手入れをしたいところが森林は今、大きな問題を抱えています。「子供、孫のいざというときのために」と



高きヨシノ切倒ヨシノ  
三木指導員

植林されたヒノキも、林業労働力の高齢化、他産業との兼業の増加、厳しい自然を相手の作業など、いろいろの条件のなかで手入れされないと場所が多くなり、せっかく植えたヒノキも充分な価値が生かされなまま放置されることが多くなりました。ではいったい、村の山林はどのような施業を必要としているのでしょうか。前述した五千四百の人工林を林齢別、施業別にみてみましょう。



枝打ち、間伐が正しく

下刈りの作業は、植え付け後十年生くらいをめどに行い、その作業を必要とする面積は約七百四十畝。次に、節の無い柱材をつくるための枝打ち、そして不良木を切り捨てるための除伐は、六年生から二十年生くらいまで行い、その面積は約千七百畝あります。そして、柱材をつくりあげるための間伐は十六年生から三十五年生くらいまで行い、その面積は実に二千五百畝に上ります。これだけの施業面積を抱えたこれからの林業経営をあなたはどうか考えられますか。若い労働者が年々減る一方で、あなたの手を求めます。

## 笑顔と呼ぶ笑顔

シリーズ 思いやりと暮らし Ⅱ その四 Ⅱ

赤ちゃんの笑顔はまわりの人たちに喜ばれます。それは、なんの屈託もない笑顔だからでしょう。苦痛の顔は相手に良い印象を与えません。それは、つらく、苦しい様子を自分のものと考え

村雲康彦(大口)・視力検査計一台・小学校PTA母親委員会

【越原保育園へ】

ビニールぞうり四十五足  
安江正之(曲坂)

■工事入札結果の公表

①は入札期日②は落札金額  
および落札業者

◇柏本本線道路改良工事  
①十月二十六日②九百二十

万円・丸登建設㈱  
◇前山線薄層舗装工事  
①十月二十六日②四百七十

万円・西野建設㈱  
◇岩倉橋塗装工事  
①十月二十六日②百五十五

万円・㈱太田工業  
◇向山林道改良工事  
①十月二十六日②四百五十

八万円・山田土建㈱

歴史の証言・立村百年の記録（第七話）

今はもう姿を消した五加の「切り貫き岩」は、東白川村の生命線である白川街道の道普請の苦勞を物語る遺物でした。

切り貫きができたのは今から二百四十八年前。白川街道は主要地方道白川加子母線と名を変えて、今も村の大動脈となっています。

昔も今も、この道一本

白川街道に残された  
村人たちの汗と執念

人間の住むところ、必ず道があります。

特に私たちの村のように山深いところまで、峠を越え、川を渡って続いた昔の道は、塩の道でした。

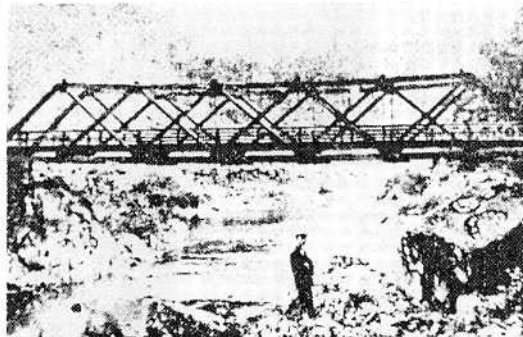
村人の生活にどうしても欠か

せない塩は、木曾川を川舟でさかのぼり最終点の黒瀬湊（現在の八百津町）までやって来ました。

ここから、久田見、上田、和泉、水戸野、中屋、大沢、大口と続き、平から神付、曲坂を経て日向へ入り、角領、万賀で飛驒街道へ接したのが、昔の白川街道です。

この路線は明治二十年に至るまで、ほとんどそのまま、明治十四年の「町村略誌」という書物によると、「神土村より白川里道、村内里程一里十四丁、（五・五）道幅六尺（一、八）何れも運輸不便」と記されています。

この白川街道の改修に着手されたのが明治二十年、岐阜県下五十八の主要路線のひとつとして、現在のルートで計画され、西白川村（白川町）地内の工



木造の白川橋全景(今の橋より少し上流側)

事までに七年を費し、ようやく明治二十七年に大沢の村境に達しました。

このときの道幅十二尺（三、六）で、近年の拡幅改良工事が始まるまで、長い間この道幅が私たちの村の動脈となってきたわけです。

全線開通は明治三十年

さて、本村内の工事は、当時の村長神戸弥助の陣頭指揮のもとに、八名の土木委員が、用地の買収斡旋、工事監督の体制をとって、明治二十七年二月から着工されたのです。

当時の計画によると、道幅九尺（二、七）であったが、敷地代金に相当する金額を「歩詰め費」として地元で負担するから二間幅（三、六）にしてほしい、という陳情もあり、村の人たちの熱意が大きかったことを示しています。この間の事情を物語る「白川街道改修約定書」（明治二十三年）には、一、改修

路線何れへ選定相成毛、村内地持者に於て、決シテ故障ナキ事（ルートをどこに選定されても一切文句を言いません）という一文もあり、現在の改良工事促進の申し合せ内容とも相通ずるものがあって興味をそそります。

こうして着工された道路は、地元村民総出の役割によって順調に進み、五加地内一里八丁五十一間（四、九）は明治二十七年七月に、神土地内釜淵までの三一丁八間（三、五）は同年八月に竣工し、その間わずかに五丁六か月という驚異的なスピードでした。

続く第二期工事の、加子母村境までの一里十丁二九間（五、一）は、当時は村内第一の橋と言われた「白川橋」の架橋という大工事がありました。長瀬にかかったこの橋は、官材の払い下げで橋桁をつくり、見事な木造トラス橋の姿を白川の流れに写しました。時に明治三十年一月、村民の悲願が実って開通した白川街道は、村内総延長三里十五丁九間



切り貫き附近の現道(昭63年)



柏本の切り貫き岩(昭61年)

（十三、五）総工費一万三千二百三十八円八十八銭六厘にのぼったと言います。

戦争の時代には数多くの出征兵士を送り出し、満洲開拓民がふるさとを振り返りながら出て行った道、そしてそのうちの何人かは再び帰ることのなかった道。

平和の現代は、若者の青春を乗せてマイカーが往き来する道しかしこの道の改良は、今も村民の悲願となっており、五加バイパスの着工がこの広報のトップ記事をかざりました。



# 話題集れ!

あなたのまわりに明るい話題がありましたら係まで連絡ください。

連絡先 商工広報係 有線2155番



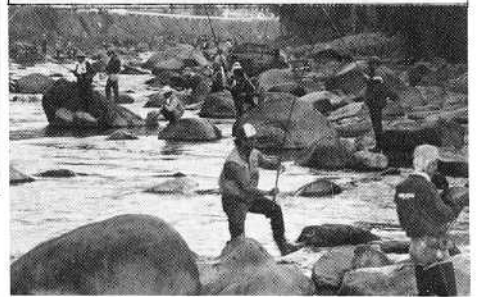
## 空から舞い降りたメッセー

山仕事に出かけた下親田の安江正徳さんは、十月二十日、久須見の奥山で二つのアドバルンを見つけました。

このアドバルンには、未来に夢を託した子供たちのメッセーが書かれた旗が付いており、小学校へ届けたところ、偶然にも中山校長が昨年まで在職していた坂祝小学校からのメッセーでした。

さっそく、同校の野村校長に連絡をしたところ「六月十六日に坂祝町を通過した未来博炬火リレーを記念して、四・五・六年生の児童三百七十八人に書かせたもので、その後便りが無いので半分あきらめていました」と、百三十日ぶりの再会に喜びもひとしおの様子でした。

## 優勝は58cmの大物マス



十月二十三日、東白川村観光協会と飛騨川漁業組合の共催による第三回秋の清流マス釣り大会が中日新聞本社の後援を受けて開かれました。詰め掛けた太公望二百二十八人の内、村外からの参加者は百八十七人と昨年を七十七人上回りました。

午前六時の開始とともに五十センチを超す大物が掛かるなど釣果も上々で、五十八センチの大物を釣り上げた中津川市の西尾英昭さんがみごと優勝。また、初めての宿泊客が十五人あるなど成果がみられました。

## 無口でも頼りになるパソコン先生



ハイテクの波が押し寄せる中で、ここ東白川小学校の授業にもパソコンが導入されています。

各学年に一台ずつ設置されたパソコンは、休み時間に自由に使えるとあって、児童たちの人気者です。使っていない学年のパソコンがあるときにはそれを使って算数・理

科などの授業に活用されています。

ハイテク機械に親しみ、また一人でやり抜く力を養うねらいで導入されたパソコンも、先生の良き助手役を務めています。

## 米寿を祝し菊満開



秋を象徴する菊の花は、その美しさの中に

秋を象徴する菊 育てる人の心を映し出します。この秋、菊作り四年目という中谷の田口良三さんの庭先は、色とりどりの五十輪の菊が、今年迎えられた米寿をお祝いするかのようになり満開となりました。

菊作りは、毎日手入れが必要で、今年は天候不順により特に難しいと言われていましたが、健康のためにと不自由な足を引かずられながらも、みごとに花になりました。

## 村野連年間リーグ優勝飛龍



十一月八日、総合運動場では、東白川村軟式野球連盟の年間リーグ優勝者を決める試合が行われました。

試合は、前期優勝ホラーズ対後期優勝飛龍の対戦となり、五対一でみごと飛龍が優勝を果して、来年の郡大会出場権を獲得しました。

# おしらせ



秋の全国火災予防運動 (11月26日～12月2日)

## 無事故で楽しい

### 狩猟を!

11月15日～2月15日

十五日は、ハンターの皆さんにとって待望の狩猟解禁日です。しかし、一つ間違えば人の命をも奪ってしまう恐ろしい銃。幸い村では人身事故もなく、狩猟マナーも正しく守られています。が、ちょっとした油断が幸せな家庭を破壊してしまいます。

- 無事故で楽しい狩猟を行うために、もう一度銃の取り扱いを確認しておきましょう。
- 銃は使用前に必ず点検し、調子の悪い銃や故障している銃は使用しない。
- 銃を手にしたときは、実包装てんの有無を確認し、発射直前まで装てんしない。
- 発射するときは、常に心を冷静に保ち、射程内や周囲の安全を確認する。
- 猟獲に自信のないときは発砲しない。
- 発射の必要がなくなったら

- すぐに脱砲する習慣をつける。
- 猟友の位置を確かめておく
- 狩猟禁止の場所では、絶対に狩猟しない。
- 銃は他人の手に触れないか
- ぎのかかる場所に保管し、盗難に遭わないよう細心の注意を払う。

## 人権相談所が開設されます

12月9日

岐阜地方事務局美濃加茂支局と人権擁護委員協議会では、十二月四日から十日までの人権週間中に、次のとおり人権相談所を開設します。

当日は、法務局の係官と村の人権擁護委員中島葵一さん(西洞)が担当します。

ご相談の内容は、土地、建物相続をめぐる問題、その他日常生活でお困りの法律問題など何でも結構です。お気軽にお出かけください。(日時)十二月九日午前十時から午後三時まで。

(場所) 村民センター(老人の部屋)

## 公庫融資の申し込みを受け付けています

10月17日～12月9日

住宅金融公庫では、昭和六十三年度第三回個人向け融資の募集を行っています。

融資の種類は、一般住宅建設資金・建売住宅購入資金・マンション購入資金の三種類。選定方法は受付日順で選考により行われます。

今回の募集は、改正後の新金利が適用され、住宅面積に応じて四・五五割～五・二割となっています。また通常融資額は、住宅部分の建設費の八十割を限度としています。

融資の申し込みを希望される方は、十二月九日までに農協金融課へお申し込みください。

## ご家族揃って

### 産業祭へ!

11月20日

育てていますか。あなたのふるさとをテーマに、第九回東白川村産業祭が十一月二十日(日)、中学校体育館をメイン会場に開催されます。

ご家族揃ってお出かけください。

## 立村百年! あなたのアイデア募集

一生に一度のチャンス

明治二十二年、町村制施行と同時に東白川村が生れて百年。

今も昔も自然が息づく東白川村です。その自然の中を百年の歴史が流れ今の私たちの生活がここにありまます。この自然、この生活、未来へどのようにに伝えたらよいのでしょうか。

村では、来年一年間を立村百年記念の年として、

各種の記念行事を展開しながら、未来の足がかりにしたいと思えます。どのような行事を行つたらよいか、あなたのアイデアをお寄せください。

☆テーマ1 記念大会の内容

☆テーマ2 百年を記念して何かを造るとしたら。

☆テーマ3 よそでは出来ない東白川独自の記念行事。

また立村百年を記念し、未来への希望を表現したキャッチフレーズを募集します。

お届け先・お問い合わせは役場企画課有線二一八五まで。

## 知っておきたい税の知識 ②

確定申告の準備お早めに

皆さんが一年の内ですべての確定申告を済ませるのには、一番頭を悩ませるのは、確定申告ではないでしょうか。年が明けてからと思っていざ始めても、なかなか出来ないのが、慣れない申告の特徴です。

でも、ほとんどの方は申告の時期が来てから始められているようで、添付書類の不足や、事業所得の収支内訳が不明りょうだったりして、もう一

度出直していただくケースがあります。これを避けるためにも、早めの準備が必要です。特に年内に土地、家屋や素材などを売ったり、贈与された方は、確定申告をされる前に一度役場税務係へご相談いただくとよいでしょう。

タックスアンサーで税相談

タックスアンサーとは、家庭の電話で、約三百項目にわたる税金の相談にコンピュータが回答するシステムです。詳しくは役場税務係まで。

今月の図書



残雪の門 黒岩 重吾著

真実の愛をもとめ、ゆるされぬ男に奔る真衣子。事業のために、幾つもの恋をあやつる由香子。女の悲しい愛の世界を情感豊かに描かれた女性向きの楽しい小説です。秋の夜長に是非読んでほしい小説として紹介しています。

荷車の歌 山代 巴著

この物語にはいろいろな運命が積み重ねられています。主人公セキの、農村地帯の婦人の苦しみや、悩みを「語りべ的」な内容で当時の生活が手にとるように書かれています。自分なりの力で、自分の矛盾と戦った明治生れの女の生き方に胸をうたれます。そして当時の婦人会活動のあり方が分る本でもあるので、紹介します。

ツルニンジン (蔓人参)

ツルニンジンとは、東アジアの温帯に分布し、日本では、北海道から九州までの山野に生えるキキョウ科ツルニンジン属の宿根草です。東白川村では、山すその日当たりの悪い陰地に自生します。若葉のころ少し毛がありますが、普通は無毛です。一種独特なおいがあります。茎は、長い蔓になって、他の植物などにからみついて伸び、左右どちらに



根が朝鮮人参のように太く、蔓になることからツルニンジンの名がついたようですが、「物類品鑑」には、ツルニンジンのほか、キキョウカラクサとし、江戸方言としてツリガネカズラ、木曾山中の方言としてチソブと記してあるそうです。ツルニンジンによく似たもの

も巻いて、二メートル以上になります。葉は薄く、裏面が緑白色で、対生、互生、輪生とさまざまにつき一定しません。夏から秋にかけて、直径四センチほどの釣り鐘状の花をつけますが、内側に紫褐色の斑点があります。まれに、そのないものもあるようです。茎や葉を切ると白い乳汁が出ます。



にバアソブがあります。ツルニンジンと同属ですが、あまり多くは自生しません。全体に小形で、毛があることが特徴です。和名は木曾地方の方言で、バアは婆、ソブはソバカスで、花の濁った色からつけられたものようです。また木曾地方ではツルニンジンにジイ(爺)ソブとも呼ぶそうです。

郷土に眠る名水・名勝・名木を求めて その8

先達の霊を祀る

霊神碑

黒淵穴沢から付知町へ通する道を登って、ちょうど峠のあたりの山の中に珍しい石仏がある。聞いて調べにでかけた。

ここは越原と付知とが境するところで、神土新集に続く越原新集が北に向かって張り出したところ、峠の堀り割のところから山の尾根伝いに三、四百メートルもあろうかと思われるところに、あった。見事な霊場があった。

かなり広い敷地の中央に間口三六三センチメートル、奥行き三〇四センチメートルという石柱の立派な囲垣がしつらえてあり、その中に、これも立派な石殿をはさんで四基の石造物、そして囲垣の外に更に四基の碑が並ぶ。

囲垣の中の碑に「覚明霊神」「普寛霊神」と刻んである。覚明行者は、江戸時代の中ごろまで、一定回数のお札行事、所定の諸社の巡拝を済ませた人しか登山が許されなかった木曾御嶽山に、一般の信徒も登山できるよう奔走したが、許されな

いので、ついに天明五年(一七八五)、多数の信徒を率いて登山を強行し、それがため、登山が許されるようになり、御嶽山御普及のきっかけを作った人。また、普寛行者は、従来、信仰登山のため使われていた黒沢口登山道のほかに王滝口登山道を開拓した人。

木曾御嶽山の信仰団体御嶽講は、この二人の行者の指導によって普及していった。

ここは、眼下に付知町の街並を眺め、そして付知峠の風景が遠望できるところだ。何よりも恵那の連山の向こうに御嶽の霊峰を望むことができる絶好の霊地である。

銘文によれば、これ等の碑は越原と付知の講中に加子母の人も加わって建てられたものと推定される。



松の間に付知町が眺める

